

■ ドンじゃんけんのやり方

床に絵カードを一行に並べておく。クラスを2チームに分けて、それぞれカードの両端に一行に並ぶ。両チームの最初のプレイヤーが並べられたカードの単語を英語で言いながら、進んでいく。二人が出会ったらじゃんけんをして、勝ったプレイヤーはゲームを続けられる。負けたプレイヤーは列の最後に戻り、次のプレイヤーがスタートラインから単語を言い始める。どちらかのチームが相手の陣地まで行ったら勝ち。

■ ダチョウゲームのやり方

床にビニールテープなどで丸い円を作り、相撲の土俵に見立てる。絵カードを洗濯バサミで背中につけて、プレイヤー2人が土俵に入る。先に相手の絵カードを英語で言えたプレイヤーの勝ち。相手に自分のカードを見られないように気をつけながら、相手のカードの絵が見えるように動く。土俵の外に出てしまったら負け。

■ リズムボックスについて

リズムに合わせて単語や表現を練習する際に、リズムを取るための「リズムボックス」が活用できます。キーボードなどには、この「リズムボックス」が付いています。私は子どものおもちゃとして買った、ミニキーボードのリズムボックスを使っていましたが、お手持ちのメトロノームを使うこともできます。リズムボックスでテンポを変えながらドリル活動をする、子どもたちの集中力を高めることもできます。最近ではリズムボックスのアプリもたくさんありますので、興味がある方は色々と工夫してみてください。